

記載例 (日本人父が外国人母の胎児を認知した場合)

認 知 届

令和〇〇年●●月 △△日届出

在ミュンヘン日本国総領事殿

受 理 令 和 年 月 日 第 号
送 付 令 和 年 月 日 第 号
書類調査 戸籍記載 記載調査 調査票 附票 住民票 通知

(よみかた)	認 知 さ れ る 子		認 知 す る 父	
	(氏)	(名)	父母との 続き柄	(氏) (名)
氏 名 生 年 月 日	胎 児		<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	小林 二郎 昭和 〇〇年 ●月 △日生
住 所 (住民登録をしているところ)			ドイツ連邦共和国バイエルン州 ミュンヘン市バツハ・シュトラークセ10番	
本 籍 (外国人のときは国籍 だけを書いてください)	世帯主 の氏名		世帯主の 氏名 小林 二郎	
	番地		東京都目黒区上目黒 5丁目33番	
認 知 の 種 類	<input checked="" type="checkbox"/> 任意認知		<input type="checkbox"/> 審判 年 月 日確定 <input type="checkbox"/> 判決 年 月 日確定	
	<input type="checkbox"/> 遺言認知(遺言執行者		年 月 日 就職)	
子 の 母	氏名		ヘーゲル マリア 〇〇〇〇年●●月△日生	
	本籍		ドイツ連邦共和国	
	筆頭者の氏名			
そ の 他	<input type="checkbox"/> 未成年の子を認知する <input type="checkbox"/> 成年の子を認知する <input type="checkbox"/> 死亡した子を認知する <input checked="" type="checkbox"/> 胎児を認知する 「平成〇〇年●●月△△日ドイツ連邦共和国の方式により胎児認知成立。 ■■■市(青少年局)作成の認知証書を添付する。」と記載			
届 出 人	<input checked="" type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> その他			
	住 所		ドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘン市 バツハ・シュトラークセ 10 番	
	本 籍		東京都 目黒区上目黒 5丁目 33番 筆頭者氏名 小林 五郎	
	署 名		小林 二郎 (印) 昭和 〇〇年 ●月 △日生	

※創設的認知届の場合は外国人母の承諾が必要となります。その際はその他欄に

「この届出を承諾する。母マリア ヘーゲル (署名) Maria Hegel」

と記載しますが、日本の方式で行った認知はドイツで有効とならない場合が考えられます。必ずドイツの関係機関にドイツ方式の胎児認知について確認下さい。